

講義要項(シラバス)

| | | | | | | |
|---|---|-------|-----------|-------|-------|-------------------|
| 科目名 | 人間関係とコミュニケーション | | | 授業方法 | 講義・演習 | |
| 担当教員名 | 小林 直竹 | | | 必修・選択 | 必修 | 単位数 4単位 |
| 学科 | 介護福祉科 | 学年・時期 | 1年 半期(前期) | | 回数 | 30回 |
| 担当教員の実務経験 | 担当教員は、看護師として20年以上にわたり、病院および介護関連施設で実務経験を積んできた。病院・施設ケアまで多様な現場で看護・医療的ケアに従事し、多職種連携やチームマネジメントにも携わってきた。これらの経験を基に、実践に根ざしたコミュニケーションと対人援助の教育を行う。 | | | | | |
| <p>授業の目的及びねらい</p> <p>人間関係とコミュニケーション、そして介護実践におけるチームマネジメントについて体系的に学び、介護福祉職として求められる対人援助能力・協働力・組織理解を身につける。</p> | | | | | | |
| <p>授業終了時の到達目標</p> <p>人間関係の基礎理論(発達心理学・社会心理学)を理解し、介護場面に応用できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助に必要なコミュニケーション技術を理解し、実践的に活用できる ・チームマネジメントの基本概念を理解し、介護現場での協働の重要性を説明できる ・組織の構造・役割・管理について理解し、介護サービスの質向上に結びつけられる ・自己研鑽の必要性を理解し、キャリア形成を主体的に考えられる | | | | | | |
| 回数 | 各回のテーマ・内容 | | | | | 授業以外の事前準備 学習内容 |
| 1 | オリエンテーション・人間関係と介護の関係 ねらい: 科目の目的を理解し、介護と人間関係の重要性を把握する 内容: 科目説明、介護における対人関係の特徴、学習の進め方 | | | | | 適宜、指示します。 |
| 2 | 人間の誕生と介護の関係 ねらい: 人間の発達と介護の関係性を理解する 内容: 人間の成長・老化、依存と自立、介護の役割 | | | | | 適宜、指示します。 |
| 3 | 自分と他者の理解(自己理解・他者理解) ねらい: 自己理解の重要性と他者理解の視点を学ぶ 内容: 自己概念、価値観、他者理解の枠組み | | | | | 適宜、指示します。 |
| 4 | 発達心理学から見た人間関係 ねらい: 発達段階と人間関係の変化を理解する 内容: 発達課題と対人関係 | | | | | 適宜、指示します。 |
| 5 | 社会心理学から見た人間関係 ねらい: 社会的影響と対人関係の構造を理解する 内容: 他社との関わり、集団との関わり、集団の中の人間関係 | | | | | 適宜、指示します。 |
| 6 | 人間関係とストレス ねらい: ストレスの仕組みと対処法を理解する 内容: ストレスモデル、対処行動、介護者のストレス | | | | | 適宜、指示します。 |
| 7 | コミュニケーションの概念 ねらい: コミュニケーションの基本的理解 内容: コミュニケーションの定義、機能、モデル | | | | | 適宜、指示します。 |
| 8 | コミュニケーションの基本概念 ねらい: コミュニケーションの構成要素を理解する 内容: 言語・非言語、メッセージ、フィードバック | | | | | 適宜、指示します。 |
| 9 | コミュニケーションの手段 ねらい: 多様なコミュニケーション手段を理解する 内容: 口頭・筆記・ICT、介護現場での記録 | | | | | 適宜、指示します。 |
| 10 | 対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション ねらい: 援助関係の特徴を理解する 内容: 援助関係の構造、信頼関係、ラポール形成 | | | | | 適宜、指示します。 |

| | | |
|----|--|-----------|
| 11 | 対人援助における基本的態度 ねらい: 援助者としての姿勢を理解する 内容: 受容・共感・自己一致、倫理的態度 | 適宜、指示します。 |
| 12 | 援助的人間関係とバISTECKの原則 ねらい: 援助関係の原則を理解し、介護に応用する 内容: バISTECKの原則、事例検討 | 適宜、指示します。 |
| 13 | 組織の条件とコミュニケーションの特徴 ねらい: 組織の構造とコミュニケーションの関係を理解する 内容: 組織の定義、公式・非公式組織 | 適宜、指示します。 |
| 14 | 組織における情報の流れ ねらい: 情報伝達の仕組みを理解する 内容: 縦・横・斜めのコミュニケーション、報連相 | 適宜、指示します。 |
| 15 | 組織において求められるコミュニケーション ねらい: 組織で働くためのコミュニケーション能力を理解する 内容: 協働、調整、記録、会議の進め方 | 適宜、指示します。 |
| 16 | ヒューマンサービスとしての介護サービス ねらい: 介護サービスの特性を理解する 内容: ヒューマンサービスの特徴、介護の専門性 | 適宜、指示します。 |
| 17 | 介護現場で求められるチームマネジメント ねらい: チームで働く意義を理解する 内容: 多職種連携、チームの役割 | 適宜、指示します。 |
| 18 | 介護実践におけるチームマネジメントの取り組み ねらい: 現場でのマネジメントの実際を理解する 内容: リーダーシップ、PDCA、事例検討 | 適宜、指示します。 |
| 19 | ケアを展開するために必要なチームとその取り組み ねらい: ケアチームの構造と役割を理解する 内容: ケア会議、情報共有、役割分担 | 適宜、指示します。 |
| 20 | チームでケアを展開するためのマネジメント ねらい: チームケアの実践方法を理解する 内容: 協働、調整、コミュニケーション技法 | 適宜、指示します。 |
| 21 | チームの力を最大化するためのマネジメント ねらい: チーム力向上の方法を理解する 内容: モチベーション、コンフリクトマネジメント | 適宜、指示します。 |
| 22 | 介護福祉職のキャリアと求められる実践力 ねらい: 介護職のキャリアと能力を理解する 内容: 実践力、専門性、キャリアパス | 適宜、指示します。 |
| 23 | 介護福祉職としてのキャリアデザイン ねらい: キャリア形成を主体的に考える 内容: キャリアプラン、目標設定 | 適宜、指示します。 |
| 24 | 介護福祉職のキャリア支援・開発 ねらい: 組織における人材育成を理解する 内容: OJT、研修制度、評価 | 適宜、指示します。 |
| 25 | 自己研鑽に必要な姿勢 ねらい: 学び続ける姿勢の重要性を理解する 内容: 振り返り、自己評価、学習方法 | 適宜、指示します。 |
| 26 | 介護サービスを支える組織の構造 ねらい: 介護組織の構造を理解する 内容: 法人、施設形態、組織図 | 適宜、指示します。 |
| 27 | 介護サービスを支える組織の機能と役割 ねらい: 組織の機能と役割を理解する 内容: 管理機能、業務分担、責任 | 適宜、指示します。 |
| 28 | 介護サービスを支える組織の管理 ねらい: 組織管理の基本を理解する 内容: リスクマネジメント、品質管理 | 適宜、指示します。 |
| 29 | 総合演習(事例検討・ロールプレイ) ねらい: 学んだ内容を統合し実践的に活用する 内容: 事例分析、コミュニケーション演習、チーム会議演習 | 適宜、指示します。 |

| | | |
|--|---|-----------|
| 30 | <p>まとめ・振り返り ねらい:学習成果を確認し、今後の課題を整理する 内容:振り返り</p> | 適宜、指示します。 |
| <p>成績評価の方法</p> <p>授業参加・態度 :50% 授業への主体的な参加姿勢を重視して評価する。出席状況・授業中の取り組み姿勢・発言や質問などの積極性・グループワークにおける協力的態度 他者の意見を尊重しながら学びに参加する姿勢 小テスト・課題・科目評価試験 50% 授業内容の理解度を確認するため、以下を評価対象とする。 ・各章末の確認テスト・ワークシート・課題提出物 科目評価試験(筆記または実技を含む場合あり) 知識の定着度、理解の深さ、実践への応用力を総合的に評価する。</p> | | |
| <p>使用テキスト・参考書等</p> <p>中央法規出版『最新介護福祉士養成講座 人間の理解 I 第2版』 ここからはじめる介護福祉士国家試験スタートブック2027 教員作成資料</p> | | |
| <p>授業に関する特記事項(携帯電話の取り扱いや授業内のルール等)</p> <p>グループワークでは互いを尊重し、積極的に参加すること。 ・授業中の私語・飲食は禁止(水分補給は可)。 ・教室内の撮影・録音は禁止(許可がある場合を除く)。</p> | | |